

第7章 街づくり

◆施策体系

誰もが安全で快適に暮らせる自然と調和した街づくりを進めます	1 土地利用
	1 計画的かつ合理的な土地利用の推進
	2 所沢らしい景観まちづくりの推進
	3 基地返還と跡地利用の促進
	2 市街地整備
	1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進
	2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進
	3 市街地整備の適正な誘導
	3 道路
	1 道路計画の推進
	2 幹線道路の建設推進
	3 生活道路の整備推進
	4 歩行者・自転車環境の整備推進
	5 道路環境の整備
	4 交通
	1 交通政策の推進
	2 安全で快適な交通環境の整備
	3 鉄道・バスなどの公共輸送の充実
	5 上水道
	1 水資源の確保と有効利用
	2 安全な水の安定供給
6 下水道	
1 下水道事業経営の効率化	
2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全	
3 災害に強い下水道整備の推進	
7 住宅・住環境	
1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備を推進	
2 適正な公営住宅の管理・運営	
3 住生活の安定と質の向上	

第1節 土地利用

～ 魅力あるまちとして、人が集うまち ～

7-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進

(千円)

最優先	概要	旧暫定逆線引き地区の建築状況調査事業	建築指導課	新規	H30	6,000
				期間: H30	H31	
	概要	市街化調整区域内で用途地域の指定がある6地区(旧暫定逆線引き地区)について、今後の土地利用の方針や形態規制を検討、決定するにあたり、建築物立地状況に関する調査及び物件リストの作成を行う。		H32		
				H33		
最優先	概要	土地利用転換推進事業	都市計画課	既存	H30	203,646
				期間: H29～	H31	666,335
	概要	本事業は、市域を総合的に捉え、都市機能の無秩序な拡散防止と自然環境との共生に配慮しながら地域の活性化を図るため、計画的かつ適正な土地利用転換を目指し、土地区画整理事業の実施に向けて、基本構想の作成や地権者組織の立上げの支援を行う。		H32	454,307	
				H33	644,324	

優先	概要	所沢市街づくり基本方針改定事業	都市計画課	既存	H30	19,311
				期間: H29～H31	H31	11,816
	概要	20年先の都市将来像を描く所沢市街づくり基本方針について、少子高齢化、人口減少等の社会経済情勢の変化や、総合計画等の策定を踏まえ、平成31年度の議案提出を目途に素案作成を行う。		H32		
				H33		
優先	概要	街づくり支援事業	都市計画課	既存	H30	80
				期間: H17～	H31	110
	概要	市民主体の街づくりの実現を目指し所沢市街づくり条例に掲げる協議会に対して情報提供や助言、アドバイザー派遣等による支援を行うとともに街づくりに関心のある市民に対し街づくり講座を開催する。		H32	110	
				H33	110	

7-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進

(千円)

優先	概要	景観まちづくり支援事業	都市計画課	重点	指標	既存	H30	1,164
				期間: H23～	H31	1,124		
	概要	所沢市の良好な景観の形成の実現に向け、「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」に基づき、市民主体の景観まちづくりの取り組みを支援する。		H32	1,242			
				H33	1,124			

7-1-3 基地返還と跡地利用の促進

(千円)

最優先	概要	東西連絡道路整備事業	企画総務課 (基地対策室)	指標	既存	H30	565,280
				期間: H26～H31	H31	475,368	
	概要	日米合同委員会にて合意された東西連絡道路用地返還に係る条件を満たすため、市及び国で取り決めたそれぞれの負担区分により、基地内施設の新築・撤去及び東西連絡道路を敷設する。市の負担区分は倉庫・消化水槽等の建築や基地内道路の整備、既存倉庫等の撤去である。		H32			
				H33			

◆◇◆計画期間における目標指標

都市景観や街並みの満足度		都市計画課				
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	66.9		現状値以上			
単位: %		実績値	58.6	63.8	63.6	

【説明】 都市景観や街並みの施策に対する市民満足度を測る指標です。
現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、所沢市の景観や街並みに満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

東西連絡道路の整備		企画総務課(基地対策室)				
現状	H26	目標値	H27	H28	H29	H30
	調査		設計	工事	工事	工事
単位: -		実績値	設計	工事	工事	

【説明】 米軍所沢通信基地の東西連絡道路用地一部返還に係る返還条件工事及び東西連絡道路工事の進捗状況を示す指標です。
上記の「現状」は、平成26年度の整備過程を表しています。
目標値は、平成28年度に工事着工し、計画的に整備を進めるものです。

第2節 市街地整備

～ 地域の特徴を活かした安全で活力ある街 ～

7-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進

(千円)

最優先	日東地区まちづくり事業	市街地整備課	指標	既存	H30	889,617
			期間: H17～		H31	810,613
	概要	所沢駅近接の商業地という地区の特性を踏まえ、民間活力により都市基盤の整備と街区の再編を一体的に図る事業を支援・誘導するとともに、安全で快適な都市環境への改善並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを進める。			H32	1,213,753
					H33	94,693
	ファルマン通り交差点改良事業	市街地整備課		既存	H30	2,101
			期間: H26～H33		H31	164,039
	概要	ファルマン通り交差点について、所沢東町地区第一種市街地再開発事業で整備する都市計画道路中央通り線(県道久米所沢線)の整備時期に合わせて、交差点の改良事業を行い、交通処理能力と安全性の向上を図る。			H32	187,001
					H33	88,001
	所沢駅西口地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	H30	1,136,448
			期間: H13～		H31	3,248,851
概要	所沢駅西口土地区画整理事業と連動して、地区内における市街地再開発事業を推進する。また、駅周辺地域の回遊性を高めるため歩行者動線の整備・検討を進めるとともに、地域間の移動の利便性を図るため、都市計画道路所沢駅ふれあい通り線の整備を推進する。			H32	3,330,547	
				H33	1,460,165	
所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所	指標	既存	H30	2,025,670	
		期間: H28～H37		H31	1,218,400	
概要	西武鉄道車両工場跡地を含む所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的施行により、都市基盤の整備並びに計画的な土地利用を誘導する街づくりを行う。			H32	638,900	
				H33	961,100	

重要	旧市役所庁舎跡地等活用事業	経営企画課	重点	指標	既存	H30	0
	所沢駅周辺まちづくり推進調整事業	市街地整備課			既存	H30	0

7-2-2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進

(千円)

最優先	北秋津・上安松地区まちづくり事業	市街地整備課		既存	H30	210,197
			期間: S59～H38		H31	209,169
	概要	所沢駅近接地区にふさわしい街づくりを目指し、組合施行による土地区画整理事業を基本に道路、公園、下水道等の都市基盤を総合的に整備し、防災面や住環境の向上を図り、安心・安全に生活できる街づくりを行う。			H32	620,169
					H33	810,169
優先	狭山ヶ丘土地区画整理事業	狭山ヶ丘区画整理事務所		既存	H30	399,000
			期間: S62～H33		H31	266,405
	概要	住環境の改善を図るため、道路、公園施設等の公共施設を計画的に整備し、良好な住宅地を供給するとともに、災害に強い街づくりの形成を図ることを目的として、施行面積29.7haにおいて土地区画整理事業を実施する。			H32	235,595
					H33	717,062

7-2-3 市街地整備の適正な誘導

(千円)

重要	地区計画推進事業	都市計画課			既存	H30	0
----	----------	-------	--	--	----	-----	---

◆◇◆計画期間における目標指標

所沢駅の1日平均乗降客数			市街地整備課・所沢駅西口区画整理事務所			
	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
現状値	96,485				→	100,000
単位:人		実績値	97,662	99,994	未確定	

【説明】 本市の表玄関となる所沢駅の利用状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の1日における平均乗降客数です。
 目標値は、平成30年度までに100,000人をめざすものです。

地区計画・建築協定の策定地区数			都市計画課・建築指導課			
	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
現状値	33				→	36
単位:地区		実績値	34	37	37	

【説明】 市街地整備の取り組み状況を示す指標です。
 現状値は、平成25年度の地区計画・建築協定の地区数です。 ※所沢市街づくり条例による「街づくり協定」の地区数を含む
 目標値は、平成30年度までに36地区をめざすものです。



※「所沢市PR空撮動画」より

第3節 道路

～ 人と環境に優しく、誰もが安全・快適に道路を利用できるまち ～

7-3-1 道路計画の推進

(千円)

最優先	北野下富線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H30	378,149	
			期間: H6～		H31	1,294,701	
	概要	中心市街地の交通渋滞緩和を図るため、本市の外環状道路に位置付けた国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線までの延長5,500mの道路である。これまで延長3,810mが開通し、早期の全線開通に向けて建設を進めている。				H32	320,000
						H33	500,000
	松葉道北岩岡線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H30	12,881	
期間: H16～H31			H31	157,523			
概要	新所沢跨道橋通りから狭山市内の主要地方道所沢狭山線を結ぶ延長2,860mの道路で、計画的な整備により、交通の利便性の向上と交通渋滞の緩和、安全の確保を図る。これまで延長680mが開通し、現在は延長736mの区間の整備を進めている。				H32		
					H33		
重要	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H30	0	
	所沢村山線道路築造事業	計画道路整備課	指標	既存	H30	0	
	和田本郷線道路築造事業	計画道路整備課		既存	H30	0	

7-3-2 幹線道路の建設推進

(千円)

重要	(県) 東京狭山線道路建設促進事業	計画道路整備課		既存	H30	0
	(県) 飯能所沢線道路建設促進事業	計画道路整備課	指標	既存	H30	116,621

7-3-3 生活道路の整備推進

(千円)

最優先	COOL JAPAN FOREST周辺道路整備事業	道路建設課	既存	H30	147,194		
			期間: H29～H31		H31	70,000	
	概要	「ところざわサクラタウン」を拠点施設とする、半径約500m圏内を重点推進エリアとして位置付けられた「COOL JAPAN FOREST」及びその周辺の交通環境整備を行い、交通の円滑化を図るものである。				H32	
						H33	
	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業	道路建設課	指標	既存	H30	200,000	
期間: H21～H30			H31				
概要	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため新設道路を整備するもので、本路線については、第1工区約740mのうち、入間市境から浅間山通りへ至る所沢市分約460mを整備するものである。				H32		
					H33		
優先	計画道路東京狭山線接続道路(市道1-212号線外1路線)整備事業	道路建設課	指標	新規	H30	26,716	
			期間: H30		H31		
	概要	都市計画道路東京狭山線の開通によって、新柳瀬橋を利用した清流苑地区への通行に支障が生じることから、その機能補償として市道1-212号線の改良等を行い、市道を新柳瀬橋から新たに信号が設置されるグリーンヒル入口の交差点まで接続するものである。				H32	
					H33		
重要	道路改良事業	道路建設課	指標	既存	H30	180,291	

7-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進

(千円)

重要	新所沢駅西口駅前広場改修事業	計画道路整備課		既存	H30	0
----	----------------	---------	--	----	-----	---

7-3-5 道路環境の整備

(千円)

最優先	清流苑第二の橋築造事業	道路建設課	既存	H30	99,522		
			期間: H26～H31		H31	80,000	
	概要	所沢市側への接続通路が、現在、新柳瀬橋しかない下安松の清流苑地区での、災害時における避難路等の確保のため、新たに「第二の橋」として築造整備するものである。				H32	
						H33	
	松戸橋歩道設置事業	道路建設課	既存	H30	35,729		
期間: H29～H31			H31	30,000			
概要	大字上安松地内の柳瀬川に架かる松戸橋における、歩行者の安全確保と利便性の向上を図るため、既存の橋に隣接する歩道を設置するものである。				H32		
					H33		

最優先	街路樹維持管理指針作成委託事業		道路維持課		新規	H30	5,900	
				期間:H30		H31		
	概要	植樹から40年以上が経過し、老木化や大木化が進行している街路樹について、現在の街路樹本数の縮小計画や、管理しやすい樹種への更新計画を策定し、将来的な維持管理費の削減を図り、安定的な街路樹の維持管理を行うことを目的とした指針を策定する。					H32	
							H33	
最優先	自転車レーン整備事業		道路維持課		新規	H30	14,114	
				期間:H30~		H31	12,802	
	概要	誰もが移動手段として手軽に使っている自転車について、車道上の通行帯、いわゆる「自転車レーン」の整備で、歩道内の歩行者と自転車の混在による接触事故の削減や、車両ドライバーに対し、車道を走行する自転車の存在意識を高めることを目的として整備を図る。					H32	12,749
							H33	7,626

優先	防犯灯維持管理・補助事業		建設総務課		既存	H30	44,290	
				期間:S53~		H31	44,470	
	概要	夜間道路上における市民の犯罪被害の防止を図ることを目的に、防犯灯LED化整備事業によりLED化した防犯灯や自治会等が設置し維持管理する防犯灯について、維持管理費補助金を交付する。また、自治会等が新たに設置する防犯灯には新設費補助金を交付する。					H32	44,650
							H33	44,830
優先	橋りょう長寿命化修繕事業		道路維持課		既存	H30	151,000	
				期間:H26~		H31	144,000	
	概要	全ての市管理の橋りょうについて、計画的な点検、診断、修繕、記録のサイクルを構築するとともに、維持管理費の縮減及び財政負担平準化を図る。平成30年度は法定定期点検84橋外西武線を跨ぐ3橋の点検と診断、判立橋、松戸橋外1橋の修繕工事を行う。					H32	113,000
							H33	115,000

重要	道水路座標管理図面作成事業		建設総務課		既存	H30	2,955
	道水路境界確定事業		建設総務課		既存	H30	3,412
	道路照明灯維持管理事業		建設総務課		既存	H30	135,552
	道路舗装事業		道路建設課		既存	H30	14,800
	街路樹管理事業		道路維持課		既存	H30	101,000
	道路施設維持管理事業		道路維持課		既存	H30	610,000
	放置車両処分事業		道路維持課		既存	H30	42
	路上違反広告物除却事業		道路維持課		既存	H30	1,386

◆◆◆計画期間における目標指標

都市計画道路の整備状況		計画道路整備課				
現状値	H25 69	目標値	H27	H28	H29	H30
単位:%		実績値	70	70	70.5	71

【説明】 都市計画道路の整備状況を示す指標です。
現状値は、市内39路線88,540mの延長に対する、平成25年度の進捗率です。
目標値は、平成30年度までに71%をめざすものです。

幹線道路を利用した車での平均移動時間		計画道路整備課				
現状値	H26 18	目標値	H27	H28	H29	H30
単位:分		実績値	18	18	18	17

【説明】 車での移動時間の短縮から道路整備の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成26年度における所沢市役所から幹線道路を利用した東西南北のまちづくりセンター(柳瀬・三ヶ島・吾妻・富岡)までの平均移動時間です。
目標値は、平成30年度までに17分をめざすものです。

規格改良済車道延長		建設総務課				
現状値	H25 528	目標値	H27	H28	H29	H30
単位:km		実績値	534	535	未確定	538

【説明】 道路整備の取り組み状況を示す指標です。
現状値は、専用自転車歩行者道を除いた市道のうち、平成25年度までに舗装され、両側に側溝が整備されているなどの改良済みの道路延長距離です。
目標値は、平成30年度までに538kmをめざすものです。

第4節 交通

～ 多様な交通手段を用いて、誰もが安心・安全に移動できるまち ～

7-4-1 交通政策の推進

7-4-2 安全で快適な交通環境の整備

(千円)

最優先	西所沢駅西口開設推進事業	交通安全課		既存	H30	47,997	
			期間: H17～		H31	5,000	
	概要	平成17年に改札口開設に関する請願が提出され、市議会で採択されたことを受け、関係機関等との協議を進めてきた。平成30年度は、西武鉄道(株)と基本協定の締結に向けて協議を重ねるとともに、県道から送迎車用転回広場予定地までの市道拡幅工事を行う。				H32	17,000
						H33	315,000

重要	交通バリアフリー推進事業	交通安全課		既存	H30	80
----	--------------	-------	--	----	-----	----

7-4-3 鉄道・バスなどの公共交通の充実

(千円)

優先	地域公共交通検討事業	企画総務課 (交通政策室)		既存	H30	1,147	
			期間: H26～		H31	1,147	
	概要	本市における市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保及び利便性を向上させるための対策について検討するものである。				H32	1,147
						H33	1,147
	市内循環バス(ところバス)運行事業	交通安全課		指標	既存	H30	137,839
			期間: H10～		H31	133,082	
概要	平成10年度より公共施設の利便性向上、市内の交通不便地域の解消及び高齢者・障害者等の交通弱者対策を図ることを目的として運行している。平成30年度は、東村山市への乗り入れを含む、運行コース及びダイヤの一部見直しを実施する。				H32	151,822	
					H33	161,562	

重要	都市高速鉄道12号線導入促進事業	企画総務課 (交通政策室)		既存	H30	337
----	------------------	------------------	--	----	-----	-----

◆◆◆計画期間における目標指標

「ところバス」利用者数		交通安全課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	353,217	363,000	368,000	373,000	378,000
単位: 人	実績値	391,099	389,587	未確定	

【説明】 公共交通の充実に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度の「ところバス」利用者数です。
目標値は、毎年度5,000人の増加をめざすものです。

ノンステップバスの導入率		交通安全課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	78.2	79.5	79.5	79.5	80.8
単位: %	実績値	83.1	82.9	未確定	

【説明】 公共交通の充実に対する取り組み状況を示す指標です。
現状値は、平成25年度のノンステップバスの導入率です。
目標値は、平成30年度までに80.8%をめざすものです。

第5節 上水道

～ 災害に強く、安全で良質な水が安定して供給されるまち ～

○複数の基本方針にまたがる事業

(千円)

優先	出前教室実施事業	総務課		既存	H30	30
			期間: H28～	H31	30	
	概要	水道及び下水道の理解を深めてもらうとともに、水の大切さに気付き、地球の環境保全に対する意識を高めてもらうことを目的に、市内の小学校に上下水道局職員を派遣し、啓発用パンフレット「所沢の水道と下水道」等を使用して、上下水道に関する授業を行う。			H32	30
					H33	30

7-5-1 水資源の確保と有効利用

(千円)

優先	取水施設保全事業	給水管理課		指標	既存	H30	9,504
			期間: H5～	H31	11,846		
	概要	渇水時や災害時などの水源としても活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を行い、地下水の揚水量を確保していくものである。			H32	11,988	
					H33	12,132	

7-5-2 安全な水の安定供給

(千円)

最優先	水道ビジョン等策定事業	経営課		新規	H30	11,470	
			期間: H30～32	H31	11,402		
	概要	アセットマネジメント手法により、水道事業の現状と将来の見通しを分析・評価したうえで、これを踏まえ、その将来像を描き実現に向けた計画として、「所沢市水道ビジョン」及び「水道事業経営計画」を策定し、経営基盤の強化を図るものである。			H32	11,402	
					H33		
	自主財源確保促進事業(検針票広告収入)	経営課・窓口サービス課		新規	H30	27	
			期間: H30～	H31	55		
	概要	上下水道局の検針票を広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより、新たな財源の確保に努めるものである。なお、検針票は水道料金と下水道使用料を合算して請求していることから、下水道事業との共同事業として実施する。			H32	55	
					H33	55	
	旧水道庁舎用地利活用事業	経営課		既存	H30	119,746	
			期間: H29～	H31			
					H32		
	概要	量水器等の倉庫や駐車場・駐輪場として利用している旧水道庁舎について、更地化して敷地を普通財産として貸付けることにより、経済的活用を図るものである。			H33		
導・送・配水管整備事業	水道建設課		既存	H30	3,403,361		
		期間: H23～H32	H31	3,491,897			
				H32	3,533,745		
概要	老朽化した水道管(導水管・送水管・配水管)について、耐久性、耐震性をもつ水道管であるダクタイル鋳鉄管への更新を行うものである。			H33	3,406,970		
浄水場整備事業(耐震補強事業)	給水管理課		指標	既存	H30	51,192	
		期間: H21～	H31	333,044			
		概要	本事業は、浄水場の配水池等について耐震診断を順次行い、耐震補強が必要な場合については、耐震補強設計及び耐震補強工事を実施し、災害に強いライフラインを構築するものである。			H32	779,586
						H33	115,012

優先	口座振替促進事業	窓口サービス課		既存	H30	71
			期間: H29～	H31	未定	
	概要	中長期的な水道料金等の収納費用削減を目的として、口座振替の新規加入者を対象とした景品抽選及び啓発チラシ・申込書等の配布を実施する。			H32	未定
					H33	未定

◆◇◆計画期間における目標指標

自己水源(取水井)の点検実施率			給水管理課			
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	30		50	60	70	80
単位: %	実績値	50	60	未確定		

【説明】 渇水時や災害時を含め、水を安定供給するための自己水源の確保・保全に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに通常の維持管理に加え、井戸内部の点検等を実施し、機能保持を確認した井戸の割合です。目標値は、平成30年度までに80%をめざすものです。

配水池の耐震化率			給水管理課			
現状値	H25	目標値	H27	H28	H29	H30
	25.0		46.7	57.6	60.9	71.7
単位: %	実績値	46.7	68.5	未確定		

【説明】 水を安定供給するための配水池耐震対策に対する取り組み状況を示す指標です。現状値は、平成25年度までに耐震対策が完了している配水池容量の割合です。目標値は、平成30年度までに71.7%をめざすものです。



ところざわの水

第6節 下水道

～ 災害に強く、生活環境の改善や水環境の保全に寄与する下水道が整備されたまち ～

7-6-1 下水道事業経営の効率化

(千円)

最優先	自主財源確保促進事業(マンホール蓋広告収入)	経営課・下水道維持課	新規	H30	1,426
			期間:H30～	H31	1,461
	概要	上下水道局の公有財産であるマンホール蓋を広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより、新たな財源の確保に努めるものである。			
				H32	1,496
				H33	1,518

7-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全

(千円)

最優先	清掃施設周辺整備事業	資源循環推進課	既存	H30	149,880
			期間:H10～	H31	204,000
	概要	東西クリーンセンターの建設に伴い、これらの廃棄物処理施設の必要性を理解し、建設等にご協力いただいた地域について、生活環境の向上等を図るため、都市基盤の整備を進めているところであり、その一環として、下水道整備等を実施する。			
				H32	137,400
				H33	98,400
	下水道管渠布設事業	下水道整備課	指標 既存	H30	3,196,101
		期間:H15～H36	H31	1,024,390	
概要	「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく第3期整備事業として整備区域の拡大を図る。清掃施設周辺整備事業として環境クリーン部の依頼により汚水管布設を進める。雨水対策として、都市計画道路北野・下富線の築造に合わせ、雨水幹線の布設を進める。				
			H32	1,368,837	
			H33	1,279,387	

7-6-3 災害に強い下水道整備の推進

(千円)

最優先	雨水樹浸透化事業	下水道整備課	新規	H30	30,000
			期間:H30～H39	H31	30,000
	概要	都市化の進展やゲリラ豪雨の増加で下水道による雨水排水が困難な状況となり、市内各所で内水被害が発生していることから被害の軽減を図るため、雨水樹の浸透化を進める。対象地区については、内水被害箇所を記した「内水ハザードマップ」を活用し選定を行う。			
				H32	30,000
				H33	30,000
	下水道地震対策事業	下水道整備課	指標 既存	H30	114,000
		期間:H21～H39	H31	980,438	
概要	所沢市下水道総合地震対策計画に位置付けられた事業として、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている管渠やマンホール等の耐震化を進める。平成30年度以降は、中期計画に基づき進め、その中で指定避難所(緑町中央公園)下の調整池の耐震化に取り組む。				
			H32	578,226	
			H33	594,834	
優先	下水道長寿命化対策事業	下水道維持課	既存	H30	64,160
			期間:H23～	H31	48,435
	概要	下水道管渠施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、下水道施設の延命化を図るものである。			
			H32	58,705	
			H33	200,897	
重要	下水道維持管理事業	下水道維持課	既存	H30	2,399,301
	都市下水路維持管理事業	下水道維持課	既存	H30	63,147

◆◆◆計画期間における目標指標

下水道普及率		下水道整備課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	92.9	93.3	93.5	93.8	94.0	➔
単位:%		93.0	93.5	未確定		
目標値						
実績値						
【説明】 下水道普及の取り組み状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度の本市の人口に対して公共下水道を使用できる人口の割合です。 目標値は、平成30年度までに94.0%をめざすものです。						

マンホールの耐震化率		下水道整備課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	13.7	51.0	74.5	100	100	➔
単位:%		45.1	62.7	86.3		
目標値						
実績値						
【説明】 「下水道総合地震対策計画」の緊急対策対象路線内で耐震化が必要なマンホール(51箇所)の改修状況を示す指標です。 現状値は、平成25年度までにマンホールの耐震化が完了している割合です。 目標値は、平成29年度までに100%をめざすものです。						

第7節 住宅・住環境

～ 誰もがいつまでも安心して住み続けられるまち ～

7-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進

(千円)

優先	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	建築指導課	既存	H30	5,000
			期間: H19～	H31	5,000
	概要	「改定所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心できる災害に強い住環境の整備を促進しており、市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助する。		H32	5,000
				H33	5,000

7-7-2 適正な公営住宅の管理・運営

(千円)

最優先	市営住宅施設整備事業	市街地整備課 	新規	H30	22,022
			期間: H26～	H31	56,019
	概要	所沢市公共建築物修繕計画に基づき、計画的に市営住宅の改修工事を実施し長寿命化を図るものである。		H32	40,741
				H33	25,500

優先	市営住宅運営事業	市街地整備課	既存	H30	180,935
			期間: S27～	H31	190,065
	概要	住宅に困窮する低所得者に良好な居住環境と低廉な家賃の住宅を提供するため、管理代行による市営住宅の適正かつ効率的な運営や市営住宅の借り上げ事業等を行う。		H32	194,237
				H33	190,815

7-7-3 住生活の安定と質の向上

◆◆◆計画期間における目標指標

居住環境の満足度		経営企画課			
	H25	H27	H28	H29	H30
現状値	66	目標値 現状値以上			
単位: %		実績値	62.2	66.3	65

【説明】住環境に関する取り組みの成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の市民意識調査の設問「あなたは、お住まいの地域の街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光・通風などの住環境に満足していますか」に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。
目標値は、毎年度、現状値以上をめざすものです。

長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数		建築指導課				
	H25	H27	H28	H29	H30	
現状値	220	目標値	660	880	1,100	1,320
単位: 件		実績値	682	249	未確定	

【説明】環境に配慮した住宅施策の成果を測る指標です。
現状値は、平成25年度の長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数です。
目標値は、毎年度、220件の増加をめざすものです。